

岡山大学病院ますかっと病児保育ルーム Newsletter

vol.14 (2024.4)

ご入学、ご進級おめでとうございます。暖かな春の陽気と共に、新年度がスタートしました。新しいクラスや担任の先生にドキドキ、ソワソワしながらも少しずつ慣れていく子どもたちは微笑ましいものですね。今までとは環境が変わる新学期、子どもは何かと不安定になるものです。

●不安を抱えた子どもにみられる行動

- ・泣くことが多くなった
- ・イライラして怒りっぽい
- ・よく甘えるようになり、親から離れようとせず、やけにべったりしてくる
- ・表情が暗い、無口になった
- ・今までよりはしゃぎすぎることが増えた
- ・言うことを聞かなくなった、わがままになった

お子さんの不安が大きくなっている時は普段から行っている親子でできる楽しい遊びなどをやってみましょう。それでも気になる場合は園の先生に相談してみてください。早寝早起き、朝ご飯、排便など生活リズムを整えて元気に過ごしましょう。体調に不安や心配な時は、病児保育ルームにご相談ください。

利用定員、開設時間等

- 利用定員 6人
- 対象児童 生後6か月から小学校6年生まで
- 利用時間 月曜～金曜日 午前8時00分～午後5時30分まで

お問い合わせ

岡山市北区鹿田町2-5-1 歯学部棟3階
ますかっと病児保育ルーム
TEL 086-235-7301



ホームページはこちら

きげんは？

いつもより元気がない、「おはよう」のあいさつもうつむきがちななど、いつもと様子が違うように見えた時は要注意。

肌の状態は？

いつもない発疹がみられたら、検温してみましょう。

顔色、表情は？

顔が赤い、青白いといったことはないですか？

熱や咳は？

顔がほてっている、手があついという場合は検温を。咳だけで熱がない場合はしばらく様子をみましょう。

子どもの言葉？

気持ち悪い、つかれた、眠い、さむい、あついといった会話ができれば、熱を測り様子を観察しましょう。あとから、熱が上がることもあります。しばらく運動は控えましょう。

身体のうごきは？

いつもと比べて足取りが重い、だるそうという時は子どもに確認します。会話がまだむずかしいお子さんは検温して体調チェックしましょう。

